

背景、地域特性及び 動画テーマについて

1. 動画作成の背景

- ▶ 近年、本区における自転車利用者の交通事故死傷者数が増加傾向にあり、その中でも特に16～64歳の増加が顕著となっている。

文京区内の自転車乗車中交通事故 死傷者数

(人)

年 年齢	R 4 年	R 5 年	R 6 年
0～15歳	15	11	15
16～64歳	119	132	159
65歳～	41	31	37
計	175	174	211

2.地域特性①

- ▶ 全国では人口が減少傾向にあるが、文京区では2038年頃まで増加傾向が続くと見込まれている。また、文京区の人口は、生産年齢人口（15～64歳）の割合が最も高く、年齢階級別の社会動態では10～20歳代は転入超過が著しい状況である。

令和7年11月1日現在の世帯数と人口	
人口総数	237,039人（前月比459人増）
うち外国人	17,162人（前月比349人増）

2.地域特性②

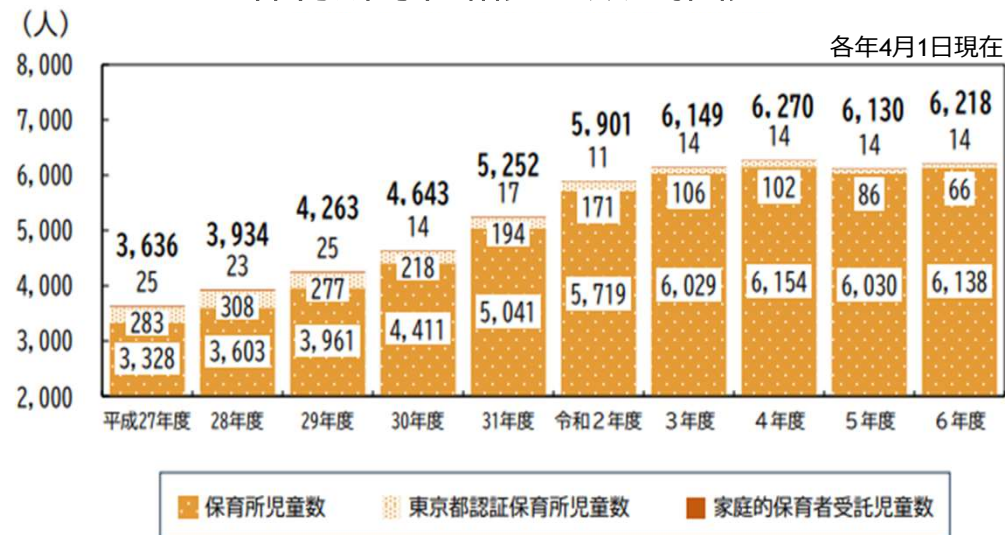
- ▶ 文京区は、令和7年4月に施行された「こども基本法」などを背景に、子どもたちに輝く未来をつなぐため、本区の特徴を反映した子育て支援策を推進している。

未就学児を有する一般世帯に占める共働き世帯の割合

	2010年	2015年	2020年
東京都	40%	53%	68%
文京区	46%	59%	78%

出典：国立研究開発法人建築研究所「共働き子育て世帯の居住状況把握に向けた自治体別世帯分布の分析」建築研究資料
「表1 夫婦と6歳未満の長子を有する共働き子育て世帯数・全国、都道府県、市区町村」より算出

保育所等在籍児童数の推移



出典：文の京ハートフルプラン文京区地域福祉保健計画子育て支援計画（2）保育所等在籍児童数と待機児童数の推移より抜粋



2.地域特性③

- ▶ 文京区は、武蔵野台地の東端部に位置し、海拔高度20-24mほどの大地部分と10m以下の低地部分が複雑に入り組む起伏に富んだ地形が特徴であり、名前がついているだけでも100以上の坂がある。
- ▶ 江戸期から続く都市形成の歴史から、細々とした町割りが残っている地区では、幅の狭い道が多く残っている。



新坂（西片1-20-5）



幅の狭い道（根津2-26-12）

3. 指定テーマ①：原則、車道走行 歩道走行時は徐行

地域特性①②

▶ 【区が伝えたい内容】

忙しい時こそ、安全確認と交通ルール遵守を。

急いでいても、歩行者の進路妨害をするなどの危険走行はしない。

自転車は「原則車道走行」であり、歩道を通行する際は「車道寄りを徐行」し、歩行者を優先する。



文京シビックセンター前

3. 指定テーマ②：三叉路

地域特性①

▶ 【区が伝えたい内容】

三叉路では、二段階右折が原則

ただし、安全確保のため横断歩道を歩いて渡る方法がある

三叉路は右折車線ではなく、左折車線を直進し、その後二段階右折となる。

ただし、横断歩道があれば、自転車を降りて横断歩道を渡る方が安全が確保される。



後楽園駅前



横断歩道がある三叉路

本駒込駅前

3. 指定テーマ③：変則的な交差点

地域特性③

▶ 【区が伝えたい内容】

「止まれ」標識がなくても、交差点では一時停止をして安全確認

優先道路が明確でない交差点の場合、「止まれ」標識の設置はないが、自動車や自転車が交錯するため、出会い頭の事故に気を付ける必要がある。狭い道も同様！
なお、区では独自に「自転車ストップマーク」をつけて注意喚起している。



小石川3-19-15



自転車ストップマーク